



結核ってどんな病気？



● 昔の病気じゃないの...？



昭和20年代までは「不治の病」と呼ばれていた結核も、第二次大戦後、薬の発展やBCGワクチンの普及、生活水準の向上などによって激減しました。しかし、現在も完全になくなったわけではありません。

最近の日本の結核患者の傾向をみると、**70歳以上の高齢者が約6割**を占めています。

これは、かつて結核がまん延したときに感染し、若いうちは発症が抑えられていたのが、**高齢になって免疫力が落ちたこと**などから発症する人が増えたと考えられます。



● どうやってうつるの...？

結核とは、結核菌を吸い込むことによって感染し、身体の抵抗力（免疫）が弱い時などに、菌が増えて発病する慢性感染症です。

結核菌は、細菌の一種である抗酸菌に属する菌であり、とても小さいため、目で見ることにはできません。

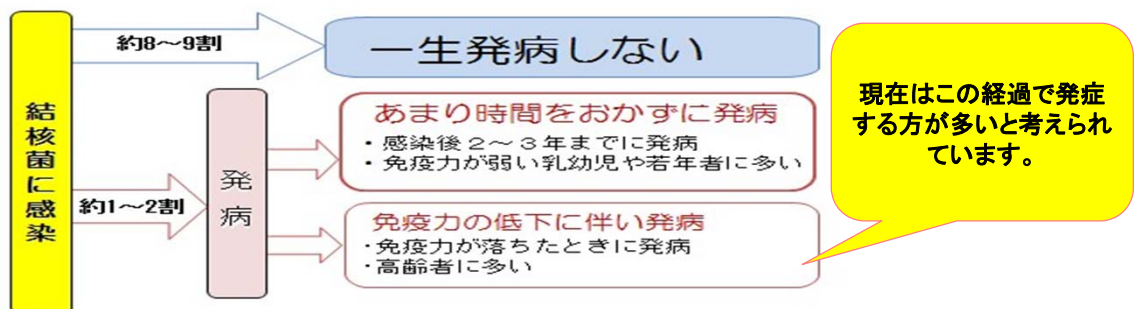


結核を発病している人が、体の外に菌を出すことを「**排菌**」といいます。せきやくしゃみをする**と飛沫(しぶき)**に含まれる結核菌が**空気中で飛び散り**、それを他の人が吸い込むことにより「**感染**」します(空気感染)

ただし、全員が**発病**するわけではありません！



結核の発病率





結核ってどんな病気？

●発病を防ぐには？



栄養バランスの
良い食事



質の良い睡眠
(しっかり休息をとる)



適度な運動



ストレスを
ためこまない

規則正しい生活で、免疫力を下げないことが大切です。



●発病するとどうなるの...？

肺結核の症状は、風邪等の呼吸器系の病気の症状とよく似ています。

結核の症状：咳・痰、血痰、微熱、胸痛、体重減少、倦怠感等
「よくなったり悪くなったり」しながら症状が進行します

<高齢者結核の症状>

高齢者は免疫力や身体機能の低下から、発病しても、咳や痰等の**特徴的な症状がないこともあり**、下記の症状にも注意が必要です。

高齢者結核で
注意が必要な症状：食欲低下、微熱の継続、体重減少
倦怠感、なんとなく元気がない

ただの風邪だと思って**受診が遅れ**
がちになることが多いです。



●治るの...？

昔は多くの方が亡くなりました。しかし今は、薬(抗結核薬等)が開発され、**きちんと薬を飲めば治ります**。

ただし、病院への受診が遅れたり、診断が遅れたために病気が進行して重症になった場合や免疫状態が著しく低くなった場合には死に至ることもありますので、注意が必要です。

初期症状はカゼと似ていますが、**2週間以上、せきや痰(たん)、微熱が続くようなら、早めに病院にかかりましょう。**

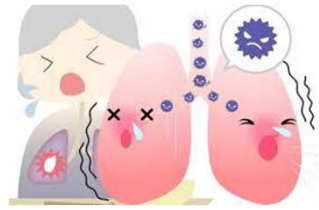


早期受診をよろしくお願いいたします。



結核ってどんな病気？

毎日の健康チェックリスト (結核早期発見のためのチェックポイント)



1. 全体の印象	
<input type="checkbox"/>	なんとなく元気がない
<input type="checkbox"/>	活気がない



2. 全身症状	
<input type="checkbox"/>	37.5℃以上の発熱
<input type="checkbox"/>	体重の減少
<input type="checkbox"/>	食欲がない
<input type="checkbox"/>	全身の倦怠感

3. 呼吸器系の症状	
<input type="checkbox"/>	咳
<input type="checkbox"/>	たん
<input type="checkbox"/>	血痰
<input type="checkbox"/>	胸痛
<input type="checkbox"/>	頻呼吸
<input type="checkbox"/>	呼吸困難



結核クイズ

次の文章が正しいか間違っているか、○か×でお答えください(正解は下記にあります)	○or×
①日本では結核に感染することはない	
②結核患者に触れると感染する	
③結核菌に感染しても、結核を発病するのは約1～2割である	
④結核の症状は風邪症状と似ている	
⑤結核の発病を防ぐためには規則正しい生活が大切である	



答え①× ②× ③○ ④○ ⑤○